

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

「消費者にとってもっと良いものがあるのではないか」と進化し続ける

安藤 宏基 (日清食品ホールディングス社長・CEO)

1. 企業の進化や存続は消費者の評価に懸かっています。良いものを提供すれば消費者に買ってもらえる。すると企業が成長する。その循環を繰り返してきました。環境の変化に適応して「消費者にとってもっと良いものがあるんじゃないか」と進化を続けることが大事です。「カップヌードル」だって進化しなければ淘汰されてしまう。
2. それで「カップヌードルをぶっ潰せ」などと言ったものだから創業者と大げんかになった。でも、その前提には「カップヌードルは最強」という思いがあるんです。「どん兵衛」や「焼きそばU.F.O.」などの商品を開発した私にしてみれば、生み出した商品を育てるにはカープヌードルをぶっ潰すぐらいの気概が必要だった。
3. 3代にわたって事業を拡大し続けている秘訣は、あきらめないことなんでしょうね。「しつこい性格」というのが備わっているのだと思います。安藤家はしつこいです。徳隆(日清食品社長)もしつこいですが、弟の清隆(中国総代表・アジア東区総代表)もしつこい。私たちは成功するまで絶対にやめない。そういう執念が個人にも会社にも受け継がれています。

(参考:「日経ビジネス」2022年5月30日号)

ワンポイント経営アドバイス

企業の競争力を測る物差しが「利益」から「炭素」

1. 企業の競争力を測る物差しが「利益」から「炭素」に変わる。炭素を垂れ流す非エコな企業は、ビジネスの参加資格すら得られない状況が現実化しつつある。炭素を減らす取り組み、ビジネスモデルの変更、脱炭素リスクの情報開示に伴う事務的コストの増加。脱炭素が企業に大きな負荷を強いるのは間違いない。
2. 脱炭素競争力の低い企業は金融市場からの資金調達が難しくなったり、企業間のM&A(合併・買収)などによる再編にさらされたりする公算が大きい。ただし、注意点が一つある。現時点では、脱炭素リスクや気候変動リスクに関する「基準・手法」が確立されていない。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2022年6月25日号)

人事・労務について

イノベーション力の低下は「安定志向」に原因

伊藤 慎介 (rimono代表取締役社長)

1. 「本気でイノベーションを起こしたいのであれば、まずわれわれ自身が変わるところから始めるべきではないか」。そう言われたのが15年前くらいだろうか。この発言が契機となり、私は、数年後に経産省を退官して電気自動車(EV)のベンチャー企業を起こすことになる。
2. 起業してから7年半が経過し、役所だけでなくベンチャー、大企業、中小企業、大学などのさまざまな世界に身を置いてみると、日本社会のイノベーション力が低下したのは「安定志向」こそに原因があるように思う。安定思考が蔓延すると、社会や企業における変革の力は大きく失われる。安定志向は働き手自身の能力を制限することになる。

(参考:「Wedge」2022年6月号)

古典に学ぶ

四民平等の教育へ

(解説) しかるに今は四民平等となり、貴賤貧富の差別なく、ことごとく教育を受くこととなり、^{すなわ}及ち岩崎、三井の息子も長屋の息子も、皆同一の教育を受く有様であるから、品性の劣等な、学問の出来ない青年もあるのは、けだし止むを得ないことである。

(参考: 渋沢栄一「論語と算盤」): 国書刊行会